

2023年9月4日

大阪府知事 吉村洋文様
大阪市長 横山英幸様
大阪府・大阪市IR推進局長様

夢洲カジノを止める大阪府民の会
〒536-0008 大阪市城東区関目 6-4-2-103 電話 [REDACTED]
連絡先: [REDACTED]

要望書 第2回以降の大阪IR（統合型リゾート）説明会開催について

2023年8月17日、大阪府・大阪市による2023年になってから初めての第1回大阪IR（統合型リゾート）説明会が行われました。私たち住民のニーズに応えたとは言い難い内容でした。当日の運営を振り返り、次回以降に向けた要望や提言を行います。

▼第1回大阪IR（統合型リゾート）説明会の概要

- ・2023年8月17日 18時30分～20時15分（105分間）、大阪産業創造館にて実施。
- ・定員100名 事前申し込み…先着順で100名を超え、申し込みなかった人がいた。
当日キャンセル？で空席があり、申込者以外の20名程度が入れた。
- ・時間の割り振り 105分間…前半50分がIR推進局の説明、後半50分が質疑応答
- ・IR推進局の説明 配布資料によって説明がされたが、昨年2022年1月実施の説明会とほぼ同じ内容だった。国の審査会が指摘した「7つの条件」への取り組み内容など、私たちが知りたいことはほとんど語られず、審査委員会が求めた「十分な地域との双方向の対話の場を設け、懸念の払拭を図る取り組みを求める」とはかけ離れた内容だった。
- ・質疑応答時間が足りず、挙手しても質問できない人が多くあった。
- ・府・市からの出席者…課長級にとどまり、知事や市長、局長は出席しなかった。

▼次回以降の説明会への要望

1. 説明会実施の形態

- ①今後府下で実施する全体計画について
 - ・大阪府各地で実施する必要があるが、住民の都合に合わせて選べるように、早急に全体計画（日時・場所）知らせること。
 - ・地域や日時（平日か休日か、午前か午後か）をバラエティーに富むものにすること。
- ②あらゆる媒体を使い、説明会実施の周知徹底を図ること。（第1回めの説明会の広報は全く足りておらず、終了後に知った人が多くいた。）
- ③定員を増やすこと。1回目、100人を超える参加応募があり漏れる人がいた。
- ④申込時に、聞きたい内容や欲しい資料を記入する欄を設けること。
- ⑤参加できない住民が情報共有できるようにライブ配信すること。また、実施後ホームページで文章とともに写真、ビデオを公開すること。（1回目の分もあれば同様に公開）

2. 説明会の内容

- ①説明を短縮し、質疑応答時間を多くとること。（105分間の内、70分を質問時間にするなど）
- ②上記1の④などをもとに、住民が今知りたい内容にすること（例：審査委員会の7つの条件の実施状況、土地評価額談合疑惑、地盤沈下の際の費用負担を誰がするのか、など）
- ③テーマごとの説明会、あるいはテーマごとに時間を区切るなどして、質問内容が偏らない工夫をおこなうこと。（例えば1回目の説明会では依存症問題の質問が取り上げられなかった。）
- ④回答の際、資料を再度読むなどの繰り返しをせず、時間を有効に使うこと。
- ⑤知事、市長、IR推進局長は、直接府民の声を聞くいい機会なので出席すること。

以上の要望項目について、2023年9月14日までに文書で回答していただきますようお願いいたします。